

FURUNOの
環境・社会
貢献活動



ミャンマーの優秀な学生に「フルノ賞」を授与

ミャンマー海事大学の航海学科を首席で卒業した学生に、「フルノ賞」を授与しました。同大学の各学科では、首席卒業生を対象に世界各国の企業による表彰制度が設けられており、当社は2015年度より、航海学科の首席卒業生の表彰を担うことになりました。今後も世界の海事業界で活躍する優秀な人材の輩出を支援するとともに、産学連携を強化していきます。

ミャンマー海事大学

海洋科学全般を対象とする教育機関。船員養成学科のほか、造船工学、機関工学、航海学などの学科で構成されており、同大学の卒業生はミャンマー国内をはじめ、世界各国の海運会社、造船会社などに就職しています。



「フルノ賞」の受賞者と小池宗之常務取締役(当時)。今回の首席卒業生には、副賞として1週間の日本旅行を贈呈しました。



環境・社会貢献活動に関するより詳しい情報はこちら▶▶▶ <http://www.furuno.co.jp/corporate/>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年5月開催	同連絡先(お問い合わせ先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 (ご利用時間:土・日・休日を除く9:00～17:00)
基準日		お取扱窓口	お取引の証券会社 (特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)
定時株主総会	毎年2月末日	特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行
期末配当金	毎年2月末日	未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
中間配当金	毎年8月31日		
その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。			
公告の方法	電子公告 (http://www.furuno.co.jp)		
	ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。		
単元株式数	100株		
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部		



表紙絵画:須磨はじめ
マリンギアライター。自ら描く
著書の挿絵から水彩画の世界
へ。プレジャーボートを素材に
した作品が多い。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

 古野電気株式会社
<http://www.furuno.com>



初夏のセーリング(スウェーデン)

株主の皆様へ

新たな市場や事業分野を開拓・育成し 力強く事業拡大を推し進めます。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの熊本地震により被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

さて、当連結会計年度の世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復が見られたものの、期の後半は中国を中心とする新興国の減速が先進国にも波及し、全体が減速基調に転じました。わが国では生産活動や設備投資が上向く一方で個人消費は依然として弱く、景気回復は力強さに欠けました。

このような経済環境の中、当社グループの関連市場では、商船市場で新造船需要が堅調に推移するとともに、プレジャーボート市場でも小型艇を中心に需要の回復傾向が続きました。こうした状況に円安の追い風も受け、当社グループでは成長市場の開拓や販売拡大に取り組まれました。その結果、船用事業では商船市場向けやプレジャーボート市場向け、産業用事業では医療機器の売上が増加し、売上高は897億2千万円、経常利益は33億6千2百万円、当期純利益は26億2千4百万円といずれも前期を上回りました。

今後の取り組みとして、船用事業では、商船市場における新造船やリプレース（換装）、規制対応による需要の取り込みを積極的に進めます。また、新興国の漁業

代表取締役社長
古野 幸男

市場を開拓して販売拡大を図るとともに、衛星通信や気象観測など新たな分野の育成・強化を加速します。産業用事業では、医療機器やETC車載器の開発力・販売力を強化するとともに、GPS機器の販売拡大や、魅力あるソリューションの提供にも取り組みます。

当社は、防衛省との契約で費用の過大請求を行った案件があることを社内調査により確認し、事実関係の把握と原因究明、再発防止策の策定を行った上で同省に報告いたしました。その後、2015年8月26日に当案件に関する返納金を納付いたしました。株主の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後このような事態を起こすことのないよう、内部統制体制の強化やコンプライアンスの徹底を図り、再発防止に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

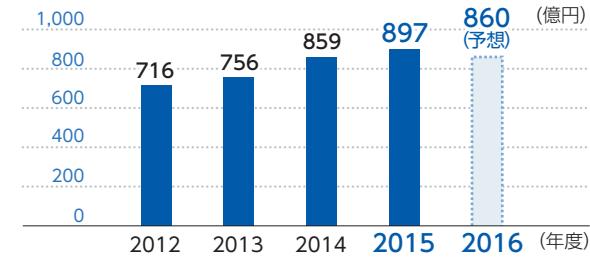
2016年5月

配当について

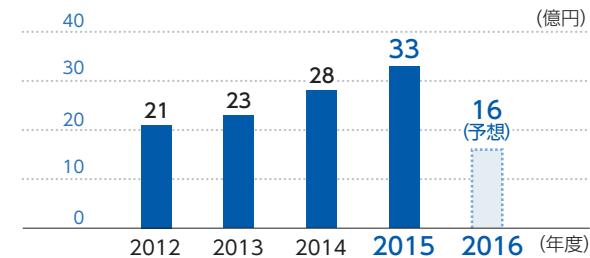
当期の期末配当金につきましては、1株当たり6円とさせていただきます。これにより、中間配当金の1株当たり4円と合わせ、年間配当金は1株当たり10円となります。

連結業績ハイライト

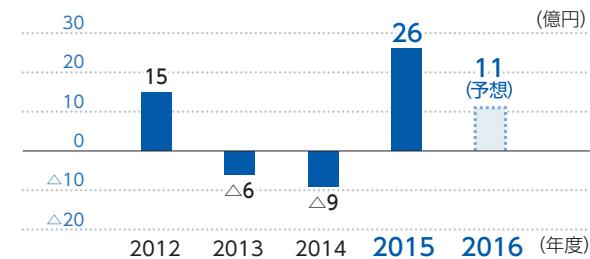
売上高



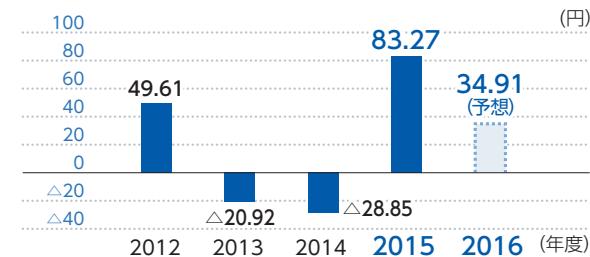
経常利益



当期純利益(△損失)



1株当たり当期純利益(△損失)



連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

科目	前期 2014年3月1日から 2015年2月28日まで	当期 2015年3月1日から 2016年2月29日まで
売上高	85,966	89,720
売上原価	58,332	60,086
売上総利益	27,634	29,634
販売費及び一般管理費	25,834	26,723
営業利益	1,799	2,911
経常利益	2,840	3,362
税金等調整前当期純利益	50	3,348
当期純利益(損失)	△909	2,624

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)

科目	前期末 2015年2月28日現在	当期末 2016年2月29日現在
流動資産	63,610	60,364
固定資産	20,185	18,100
資産合計	83,795	78,464
流動負債	34,678	29,041
固定負債	11,811	12,841
負債合計	46,490	41,883
純資産合計	37,305	36,581
負債及び純資産合計	83,795	78,464

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

科目	前期 2014年3月1日から 2015年2月28日まで	当期 2015年3月1日から 2016年2月29日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,913	1,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,974	△2,612
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,227	2,811
現金及び現金同等物の期末残高	9,861	10,441

*連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

船用事業

売上高 **734億円**

主な製品

- 航海機器
- 無線通信装置
- 漁労機器



固体化レーダー
[DRS4D-NXT]

- 商船市場向けの売上が、国内やアジアなどで増加しました。
- プレジャーボート市場向けの売上も、主要市場である欧米を中心に増加しました。
- 漁業市場向けの売上は、国内は堅調に推移しましたが、海外で伸び悩みました。

産業用事業

売上高 **133億円**

主な製品

- 医療機器
- GPS 機器
- ETC 車載器



生化学自動分析装置
[CA-800]

- 医療機器は、生化学自動分析装置が好調で売上が増加しました。
- GPS 機器は、全般的に売上が伸び悩みました。
- ETC 車載器も、売上が減少しました。

その他

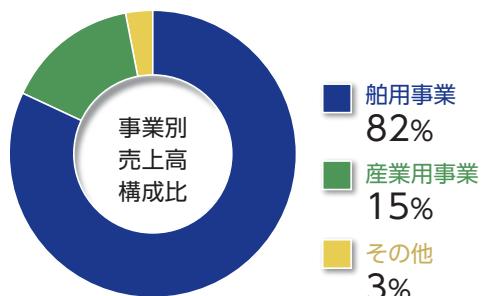
売上高 **29億円**

主な製品

- 無線LAN 機器
- 無線ハンディターミナル



無線ハンディターミナル
[finpad 800f]



船員の教育機関へ操船シミュレーションシステムを納入

広島商船高等専門学校様へブリッジでの操船を再現する操舵スタンド、レーダー・ECDISコンソール、エンジンコンソール、模擬視界表示装置(水平270度)などで構成される操船シミュレーションシステムを納入しました。

本システムは、場所・天候・時間などさまざまな状況を想定した映像と効果音のもと、国内の主要港湾や海上交通の要衝での操船を再現することができ、より実践的な演習が可能となります。

今後も教育機関などへシステムを提案、活用いただくことで、安全・安心な航海の実現に貢献してまいります。



操船シミュレーションシステム



訓練風景

「フルノチャイナ」を設立

当社は、船用事業の重要市場で今後も成長が見込める中国での販売・サービス体制の強化を目的として、現地子会社「フルノチャイナ」を設立し、本年2月に事業を開始しました。

中国での船用事業は、これまで現地代理店を経由して行っていましたが、今後は「フルノチャイナ」が当社の製品や部品、技術サービスを顧客に提供します。また、商船の新造船需要に加え、保守・換装需要に対しては、同社を含む海外販売子会社約20社のグローバルネットワークを最大限に活用した協業と、顧客に密着した営業活動を推進することで、さらなる事業拡大を図る方針です。



東日本大震災から5年 漁業海岸局の復興・発展への貢献

2016年3月11日で、東日本大震災から5年が経ちました。

被災地の復興も急速に進みつつありますが、震災直後から当社が継続して取り組んできた漁業海岸局の復興・発展への取り組みについてご紹介します。



震災直後にデジタル漁業無線機を寄贈

漁業海岸局とは漁船と通信するために陸上に設置された無線通信拠点で、気象・海況情報を提供するなど、安全な操業に大きな役割を果たしています。しかし、東日本大震災により東北各地の漁業海岸局の多くが被災し、漁業の早期復興に支障が出ると考えられたため、当社は震災直後、被災した15局にデジタル漁業無線機30台を寄贈しました。

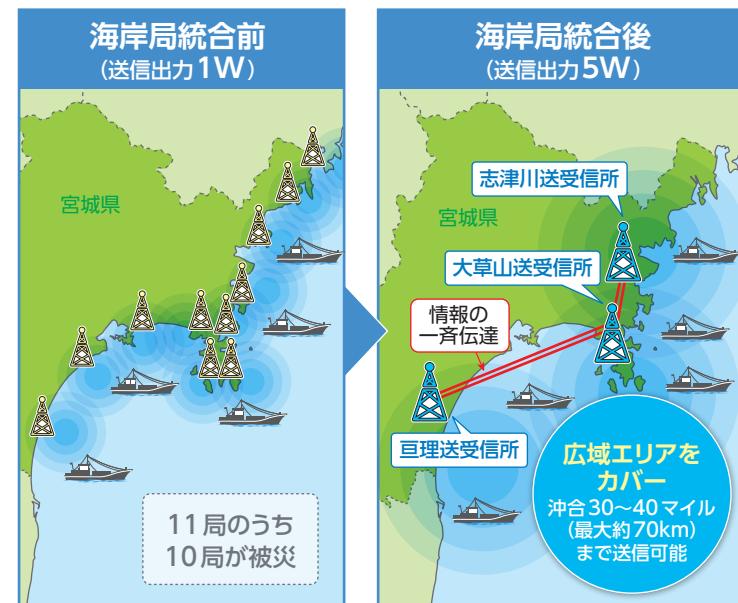


寄贈したデジタル漁業無線機 (DSB送受信機)

震災の教訓を受けて 進む漁業海岸局の統合化

多くの漁業海岸局で通信が遮断された教訓を踏まえ、当社も参画する総務省の本格復旧事業の中で、防災・減災、海岸局の効率化、漁獲向上など漁業への寄与も含め、デジタル化や高出力化による通信エリアの広域化が検討されました。2015年12月、通信エリアを広域化し3局に集約した「統合海岸局」が全国で初めて宮城県に開局され、大規模災害や海難事故における迅速な初動対応など、各局の連携強化が期待されています。

さらに2016年3月には岩手県の釜石でも同様の統合海岸局が開局され、現在は福島県でも同様の事業が進められています。



全国初の「統合海岸局」へ無線設備一式を納品

これら統合海岸局の無線設備一式を、当社が受注しました。デジタル化された無線機により、気象情報や防災情報などを音声だけでなく文字情報として送信できるほか、漁船の位置情報の把握も可能となるため、海難事故や災害が発生した際の情報収集や漁業にも役立てていただけることになります。今後も引き続き、事業を通じて地域の復興や漁業の発展に貢献してまいります。

■ 漁業無線と高出力化・デジタル化のメリット

1. 携帯電話の電波が届かない沖合でも通信可能
2. デジタル化により、無線で文字通信が可能 (音声と異なり、聞き漏らしが防げる)
3. 漁船の位置情報も把握可能 (海難事故などで迅速な救助につながる)

気仙沼事業所の 新事務所が完成

気仙沼事業所は東日本大震災で建物と事務所の設備が流失したため、仮事務所で業務を行っていましたが、2016年4月に新社屋へ移転しました。これにより、当社で被災した東北3拠点 (他は八戸事業所と石巻事業所) は全て復旧を完了しました。



気仙沼事業所の新社屋

ますます広がる DSRC技術[※]の街中での活用

高速道路の料金所などに活用されているDSRC (狭域通信) 技術。この技術をもとにしたサービスが今、より幅広い分野へと広がりを見せつつあります。車に乗ったまま多様なサービスを受けられるDSRC技術の最新の活用事例についてご紹介します。

活用例 1

料金支払だけではなく、 渋滞の回避や安全運転を支援

国土交通省により「ETC2.0」という新たなサービスの導入が進められています。ETC2.0に対応したETC車載器を使用すると、従来のように自動で料金が支払えるのはもちろん、渋滞の回避や安全運転などを支援する情報を得ることができます。さらにETC2.0では、車載器から集めた走行経路などのビッグデータを物流会社などへ提供することで、運行や配送管理の支援に役立てることが期待されています。



本年4月に発売したETC2.0車載器「FNK-M100」。自社製の車載用GPS受信機を搭載することにより、カーナビなしでETC2.0のサービスが受けられ、ドライバーに必要な情報を音声でお伝えします。

渋滞回避支援

5キロ先、渋滞しています。

安全運転支援

雪のため、注意して走行してください。

災害時支援

地震発生、後方を確認し、ハザードランプをつけてゆっくり左側に停車してください。

※DSRC(狭域通信)技術とは

数メートルから数十メートルという限られた範囲での双方向通信を目的とした技術。DSRC路側アンテナとETC車載器を組み合わせ、無線で車両情報などを送受信します。



活用例 2

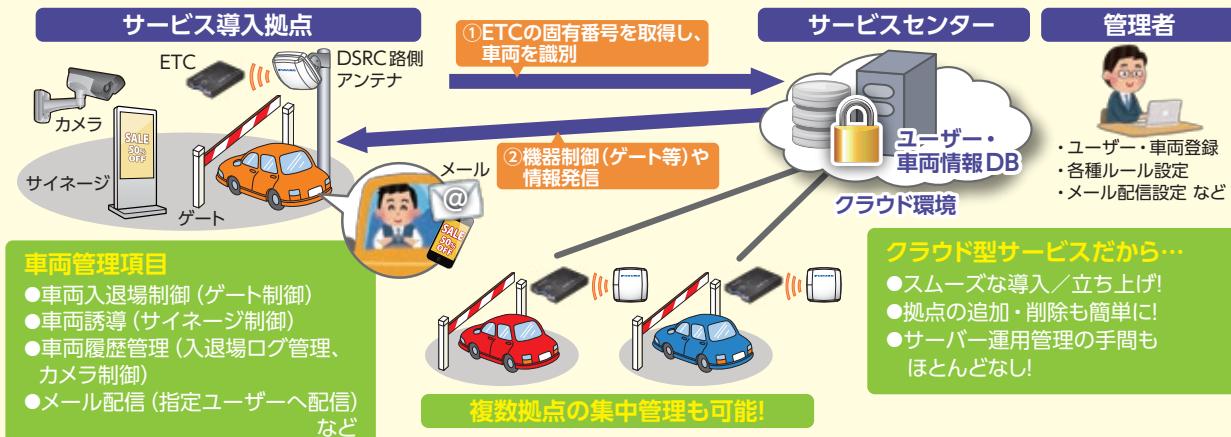
クラウドの活用で さらなる利便性の向上へ

「イオンモール常滑」(愛知県常滑市)の搬入車両の入退管理システムに、当社のクラウド型車両認識サービス「CaoThrough™(カオ・スルー)」が採用されました。18カ所ある車両出入り口の全てに設置されたDSRC路側アンテナが車両を識別。事前に登録した業務用車両のみがハンズフリーで入退でき、周辺道路の混雑の緩和に役立つことが期待されています。

拠点の追加も容易なクラウドの利点を活かし、今後



は他の商業施設や公共施設と連携して料金割引や情報配信を行うなど、さらなる利便性の向上に向けた検討が進められる予定です。



2016年 株主様工場見学会のご案内

古野電気について、株主の皆様によりいっそうご理解を深めていただくため、株主様工場見学会を開催いたします。世界最大規模の船用機器生産工場の見学会、この機会にぜひご応募ください。



組立作業見学



ショールーム見学

概要

- 見学場所 … 古野電気株式会社
三木工場 (兵庫県三木市別所町巴1)
- 参加費 … **無料** ※集合・解散場所までの往復交通費は、株主様のご負担とさせていただきます。
- 集合・解散場所 … 神戸市営地下鉄「西神中央駅」
- 開催日 … 2016年9月27日(火)
- 集合時刻 … 13:00
- 解散時刻(予定) … 17:00
- 対象者 … 2016年2月29日現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様ご本人(ご同伴者様1名まで可)
- 募集人数 … 40名(ご同伴者様含む)

ご応募前のご確認事項

- 応募多数の場合は抽選となります。抽選結果につきましては、ご応募いただいた株主様全員に、**2016年8月上旬頃**に郵送にてお知らせいたします。当選の株主様には当日の詳細をご案内いたします。
- 当日は送迎バスの乗り降り、見学時の徒歩移動(約1時間)がございます。

応募要領

応募方法：郵便ハガキに下記のとおりご記入のうえ、ご応募ください。

応募締切：**2016年6月30日(木) 当日消印有効**

郵便はがき 52円切手 6628580	古野電気株式会社 人事総務部総務課 株主様工場見学会係 兵庫県西宮市芦原町9番52号
[宛名面]	[裏面]

●株主様
①郵便番号
②ご住所
③お名前(ふりがな)
④性別
⑤年齢
⑥電話番号

●ご同伴者様(1名まで)
株主様同様に①～⑥を記載

お問い合わせ先

古野電気株式会社
人事総務部総務課「株主様工場見学会」係
電話：0798-63-1017
9:00～17:00(土日・祝日を除く)

株式の概況/会社の概況

株式の状況 (2016年2月29日現在)

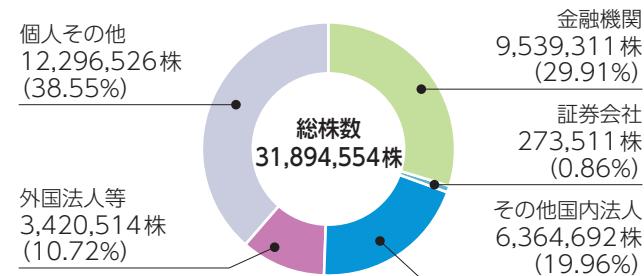
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,894,554株
自己株式	382,491株
株主数	5,470名

大株主の状況 (2016年2月29日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
古野興産株式会社	4,386	13.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,826	5.80
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱東京UFJ銀行	992	3.15
古野電気取引先持株会	951	3.02
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	942	2.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	784	2.49
エコー興産有限会社	560	1.78
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	448	1.42
HSBC - FUND SERVICES, SPARX ASSET MANAGEMENT CO LTD	434	1.38

※持株比率は、自己株式382,491株を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2016年2月29日現在)



※個人その他には、自己株式382,491株(1.20%)を含んでおります。

会社概要 (2016年2月29日現在)

社名	古野電気株式会社
英文	FURUNO ELECTRIC CO., LTD.
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
電話	0798-65-2111(代表)
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	2,905名(連結) 1,740名(個別)

役員 (2016年5月27日現在)

代表取締役社長	古野 幸男
専務取締役	小池 宗之
常務取締役	井澤 亮三
常務取締役	石原 眞次
常務取締役	和田 豊
取締役	矮松 一磨
取締役	岡本 達行
取締役	西森 靖
取締役	大矢 智資
取締役	藤田 尚住
社外取締役	寺山 孝男
社外取締役	樋口 英雄
常勤監査役	坂井 讓
社外監査役	小美野 廣行
社外監査役	村中 徹

配当金の推移

